

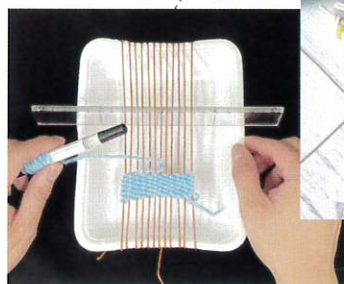
参加
無料

どんちゅうの糸で コースターを織ろう！

「綴帳（どんちゅう）」

ぶたい
舞台のステージ幕
まく

どんちゅうは、糸を織って作られた大きな大きな
おりもの織物です。ほんものの織り糸で、どんちゅうと同じ
お織り方「つづれ織り」にチャレンジしませんか？



画像：KAWASHIMA STORIES より引用

夏休みの
自由研究にも
おすすめ！

2026年8月4日(火)

13:30～15:30 (13:00 開場)

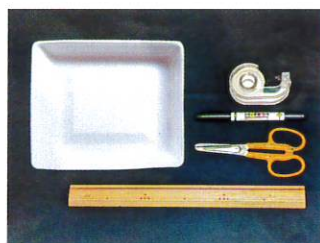
会場▶ 港北公会堂ホール

対象：小学生（保護者同伴）

定員：30 人（事前申込受付順）

港北公会堂の綴帳
「陽に萌える丘」の
お話もあります！

もちもの



▼以下をご持参ください

- ・発泡スチロールトレイ
★15cm×20cm 以上
- ・セロテープ
- ・油性ネームペン
- ・ハサミ
- ・30cm定規

使う糸はこんな糸！

国立劇場や歌舞伎座など、全国の綴帳
を手がけてきた京都の老舗織物メーカー
「(株)川島織物セルコン」様より、実際の
綴帳製作に使われた糸をご提供いた
だきました。本物の織り糸と技法に触れ
られる貴重な機会。ぜひご参加ください！

港北公会堂の綴帳も川島織物が製作。
当日は目の前でご覧いただけます！



綴帳「陽に萌える丘」(1978)

お申込み(事前申込み制)

【申込み期間】 7月15日～7月31日 17:00 (定員到達次第締切り)

▶ URL または QRコードからお申込みください。

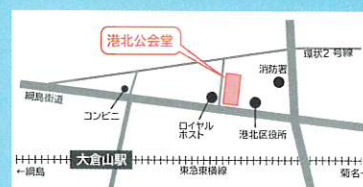
<https://serizawadoncho.info/wp/oubo-0804/>



【問い合わせ】 芹沢銑介綴帳プロジェクト <https://serizawadoncho.info>

主催：芹沢銑介綴帳プロジェクト 後援：港北区役所 協力：株式会社川島織物セルコン 横浜市港北公会堂

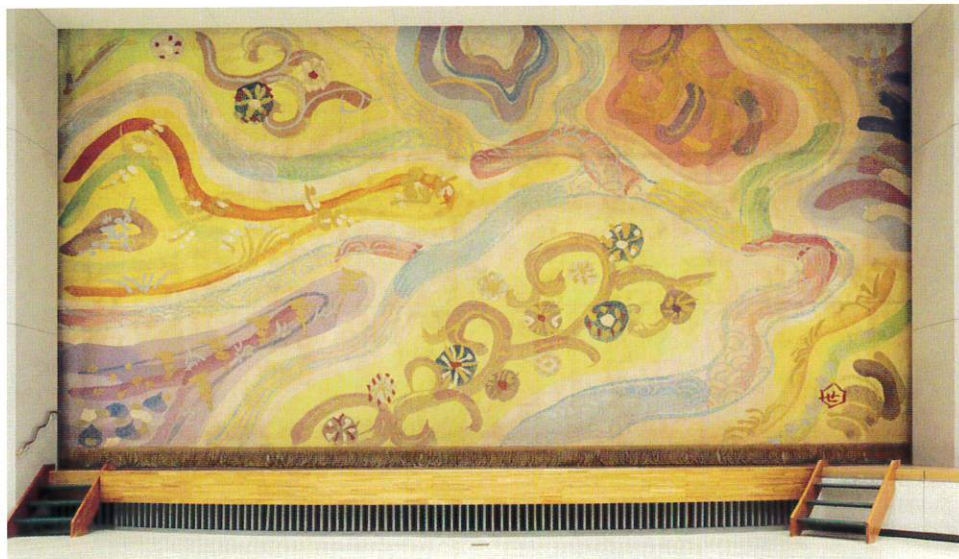
会場アクセス



東急東横線大倉山駅下車 徒歩 7 分

港北公会堂のどんちょうを見よう!

この緞帳の名前は「陽に萌える丘」。今から48年前、港北公会堂と共に誕生しました。何が描かれ、どんな思いが込められているのでしょうか？ その由来を、辿ってみましょう。



1 原画「陽に萌える丘」



この原画を元にして、緞帳が織りあげられました。鶴見川の流れと、周辺の大地に息づく植物たちが色鮮やかに描かれています。他にも3点の原画が制作され、選ばれたのがこの「陽に萌える丘」でした。

2 原画を描いた人間国宝



左：「色差する芹沢銈介(1980年3月14日)」

下：制作された原画4点



「型絵染」という染色の技法で人間国宝に認定された染色家、故・芹沢銈介氏。「陽に萌える丘」をはじめとする4点の原画が、芹沢氏によって描かれました。

3 「鶴見川流域絵図」って？



原画の着想の元となったのは「鶴見川流域絵図」。江戸時代、幕府に洪水を防ぐ改修工事を請願するために描かれた絵図です。鶴見川と共に暮らしてきた人々の想いが、緞帳のモチーフとなっているのです。

4 原画は今、下田町に



港北区下田町の旧家、田邊家。12代目・田邊泰孝氏が知人を通じ芹沢銈介氏に原画を依頼しました。現在田邊家の母屋は「日吉の森美術館」として公開され、原画はこの美術館に所蔵されています。

「どんちょうの糸でコースターを織ろう」の企画・主催は「芹沢銈介緞帳プロジェクト」という市民団体です。港北区の歴史に深くつながりがある港北公会堂の緞帳。その価値を評価し、広く知らしめ、守っていかうという活動をしています。ホームページでは、2023年に制作した緞帳に関する小冊子をご覧ください。

URL: <https://serizawadoncho.info> ▶

HPはこちらから!

